

平成16年3月期 第1四半期業績概況

平成15年8月8日

上場会社名 立飛企業株式会社
(URL -)

(コ-ド番号：8821 東証第二部)

問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長 高橋勝寿 (Tel：042-536-1111)
責任者役職・氏名 常務取締役経理部長 外谷賢郎

当社は、子会社等を有しており連結財務諸表を作成することとしておりますが、現時点において年度及び半期で連結財務諸表を作成することは可能ですが、四半期においては連結財務諸表を作成する体制とはなっておりません。したがって、当第1四半期の「業績概況」につきましては、単体の業績概況について記載しております。

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

会計処理の方法の最近事業年度における : 無
認識の方法との相違の有無

2. 平成16年3月期 第1四半期の業績概況 (平成15年4月1日～平成15年6月30日)

(1) 経営成績(単体)の進捗状況

	売上高		営業利益		経常利益		当期(四半期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
16年3月期 第1四半期	1,513		829		871		514	
(参考)15年3月期	6,180	3.3	3,136	9.0	3,275	9.3	1,722	1.0

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
16年3月期 第1四半期	40.59	-
(参考)15年3月期	133.37	-

(注)1. 15年3月期第1四半期は、四半期決算手続きを行っておりませんので開示を省略しております。

2. 売上高、営業利益、経常利益及び当期純利益におけるパーセント表示は対前期増減率。

〔経営成績(単体)の進捗状況に関する定性的情報等〕

当第1四半期におけるわが国経済は、引き続き雇用情勢や所得環境の悪化などによる個人消費の低迷等、総体的にはデフレ基調のまま推移いたしました。

不動産賃貸業におきましては、長引く景気低迷からテナントの撤退や統廃合により、賃貸需要は低迷し価格改定など依然厳しい状況が続いております。

このような状況下におきまして、当社は積極的な営業活動を展開し、新規テナントの勧誘や開拓に努め、また、経費削減等全社一丸となって経営の効率化に努めてまいりました。

当第1四半期の業績は、売上高1,513百万円、経常利益871百万円、当期純利益514百万円となり、厳しい環境下ではありましたが、概ね堅調に推移しました。

なお、前第1四半期は、四半期決算手続きを行っておりませんので、前年同期との比較は行っておりません。

(2) 財政状態(単体)の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
16年3月期 第1四半期	35,282	29,605	83.9	2,336.95
(参考)15年3月期	35,441	29,723	83.9	2,343.68

【キャッシュ・フロ - の状況】

	営業活動による キャッシュ・フロ -	投資活動による キャッシュ・フロ -	財務活動による キャッシュ・フロ -	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
16年3月期 第1四半期	407	1,856	634	3,484

〔財政状態(単体)の変動状況に関する定性的情報等〕

当第1四半期会計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という)は、前会計年度に比べ2,083百万円減少し、当第1四半期会計年度末には3,484百万円となりました。

当第1四半期会計期間における各キャッシュ・フロ - の状況とそれらの要因は、以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロ -)

営業活動による資金の増加は、407百万円となりました。これは、法人税等の支払額が690百万円ありましたが、税金等調整前当期純利益880百万円、減価償却費176百万円などによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロ -)

投資活動の結果、使用した資金は1,856百万円となりました。これは、その他の短期投資の取得による支出(自由金利型定期預金作成分)が、売却による収入(同満期分)を1,513百万円上回ったことと、国債の買い増しが301百万円あったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロ -)

財務活動の結果、使用した資金は、634百万円となりました。これは、主に配当金の支払によるものであります。

3. 平成16年3月期の業績予想(単体)(平成15年4月1日～平成16年3月31日)

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益	1株当たり予想 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
中間期	3,028	1,684	803	63.40
通期	6,070	3,272	1,670	129.36

〔業績予想に関する定性的情報等〕

中間期につきましては、新規テナントとの契約により、205号棟(月額賃貸料 520万円)が6月から、209号棟(月額賃貸料 965万円)が9月から寄与することになり、また、平成15年度土地区画整理事業に係る物件移転補償金26百万円を、当第1四半期会計期間に計上しましたので、5月に発表した中間期業績予想を今回上方修正しました。

また、通期の業績見通しにつきましては、222号棟B(月額賃貸料 269万円)が9月で解約になりますが、上記要因の通期寄与により、5月に発表した通期業績予想を今回上方修正しました。

(参考) 平成16年3月期の業績予想(連結) (平成15年4月1日～平成16年3月31日)

	予 想 売 上 高	予 想 経 常 利 益	予 想 当 期 純 利 益	1 株 当 たり 予 想 当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
中 間 期	3,336	1,985	1,074	107.31
通 期	6,616	3,602	1,962	192.75

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。
 したがって、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。
 上記金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。